市政懇談会（タウンミーティング）の結果を報告します

6 月 24 日から 7 月 11 日にかけて、小学校区ごとにタウンミーティングを計 11 回開催しました。子どもたちの保護者や地域自治会を担われている皆さまを中心に、延べ 625 人の参加がありました。市からは、市長、副市長、教育長らが出席しました。

2 部制で行い、前半は「子どもと若者に関すること」、後半は「地域づくりに関すること」について意見交換しました。主な意見・回答は次のとおりです。

タウンミーティングで説明する西村市長

■第 1 部「子どもと若者に関すること」

基本政策区分（※）	意見・回答
身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	▶意見　大きな遊具のある公園や、小さい子どもを連れて行ける公園を作ってほしい。 ▶回答　玉丘史跡公園や丸山公園など多くの公園がありますが、遊具も老朽化し、子育て世代のニーズにあっていないと感じています。遊具などの新たな設置については、財政状況を見ながら検討していきます。 ▶意見　新たに開設する幼児園は、民間委託を前提としているのか。 ▶回答　民間委託を前提としていません。幼小一貫教育を実施していく方針です。新たに施設を建設する場合は、現行制度では市の多額の予算が必要となるため、民間も視野に入れて検討しています。 ▶意見　若い人や女性が市内で働くための場所を増やしてほしい。 ▶回答　市内には優秀な企業が多く、商工会議所と連携して市外に転出している学生に就職支援をしていきます。また、女性も含め起業するための制度作りをしたいと思います。
郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり	▶意見　中学校の学校給食開始をできるだけ早く実施してほしい。 ▶回答　中学校の学校給食は、平成 26 年 1 月から実施予定です。 ▶意見　いじめの相談窓口がどこか、はっきり分かるようにして、保護者などに知らせてほしい。 ▶回答　いじめは、まず学校の担任や校長へ相談してください。また、相談は総合教育センターでも受け付けています。保護者への周知は、学校を通じて行います。 ▶意見　生徒が減り、部活動が活動しにくい環境になっている。 ▶回答　生徒数の減少で競技種目が制約される状況になっています。部活動は集団性を身につける側面もあるので、希望以外の競技であってもチャレンジしてほしい。 ▶意見　子どもが減り、小学校が存続していけるのか心配です。 ▶回答　小学校の数は、11 校の存続を基本としています。「学校のあり方委員会の答申」を尊重して、生徒数の減少によっては、地域や保護者の方との話し合いによって進めていきます。 ▶意見　北条高校の充実や高校の学区再編による通学手段を検討してほしい。 ▶回答　4 月から加西市出身の校長が赴任され、積極的に行動を起こされています。学区再編による通学手段は、コミバス等での対応を考えています。
都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	▶意見　通学路の危険箇所の整備を急いでしてほしい。 ▶回答　地域と PTA が通学路の危険箇所を認識し合い、話し合って優先順位を決めていく議論の過程を大事にしたい。国道・県道の危険箇所は、国や県に強く要望していきます。 ▶意見　市街化調整区域内に賃貸住宅があると、若い世代が暮らしやすい。 ▶回答　土地利用の制度上、非常に難しいことですが、現行制度を検討していきます。

■第 2 部「地域づくりに関すること」

基本政策区分（※）	意見・回答
身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	▶意見　昨年の台風被害で、河川の土砂が溜まっているため、撤去を急いでほしい。 ▶回答　復旧について、可能な限り補助事業で対応していきたい。 ▶意見　消防団の団員を集めるのに苦慮している。部の数と団員数が近隣市町に比べたら多いのではないか。 ▶回答　消防の部の数を減らすことは問題もあり難しいが、隣町と一緒にできないか自治会でも考えてほしい。 ▶意見　婚活について、若い人が集まる場所がほしい。3 世代交流をしても若い人が集まらない状況です。 ▶回答　加西市の未婚率が高いことは認識しています。今後、市内企業と連携して婚活事業に取り組みたい。 在田地区のタウンミーティング
自然環境の保全と特色ある景観づくり	▶意見　鹿の被害を防ぐため、地域全域を柵で囲むなどの対策を講じるべきではないか。 ▶回答　引き続き積極的に補助を受けながら対応していきたい。専門家とも協議しながら良い方法を探していきたい。
都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	▶意見　住宅地を県や市で開発して、近隣企業で働く人に定住ＰＲをしてはどうか。 ▶回答　現在、定住促進に向けて方策を検討しています。 ▶意見　加西 IC 周辺の開発を進めてほしい。5 年先・10 年先のビジョンを描いて進めてほしい。 ▶回答　加西 IC 周辺整備は、地域の方々と議論しながら良いものにしていきたい。 ▶意見　地籍調査事業を進めてほしい。 ▶回答　地籍調査は 1 年で 2 町のペースで進めています。今後、体制を強化し、積極的に進めていきます。
健全な行財政運営の確立	▶意見　通学路の安全対策費 3,300 万円は今年限りで終わるのか。予算のばら撒きに終わるのではないか。 ▶回答　通学路を地域の皆さんで再確認して検討していくことで、効果的な安全対策を速やかに実施することが目的であり、単にばら撒き予算ではありません。 ▶意見　ふるさと創造会議ができると、自治会活動がもっと忙しくなるのではないか。 ▶回答　ふるさと創造会議が、地域住民のみなさんの過大な負担とならないような仕組みづくりを検討しています。また、自主的な運営が継続できるものを考えています。

※基本政策区分とは、平成 23 年度に策定した第 5 次加西市総合計画中の区分です。

これ以外の意見や回答は市ホームページに掲載しています。
今後、皆さまの提案や意見を内部検討して、予算化・条例化するなど、可能な限り市政に反映させていきます。

【問合先】　ふるさと創造課・ふるさと創造係☎㊷8706　FAX㊸1800　furuso@city.kasai.lg.jp